

福岡アジア都市研究所第3回都市セミナー フォーラム「福岡市におけるアジア政策の未来」 —福岡女子×東京女子が考える「福岡でアジアを活かす・生きる道」—

福岡アジア都市研究所は、平成20年度～21年度自主研究として「福岡市におけるアジア政策の過去・現在・未来」と題した研究に取り組んできました。これは、福岡市が独自に取りこんできた「アジア関連施策」の成果と評価を検証し、これからの福岡市の発展につなげていくための方向性を示すというものです。

本研究によって明らかになったことの1つに、福岡には多くの貴重なアジアの創造的な知の財産、重層的な人のネットワークが蓄積されているにもかかわらず、それらが十分に活用されていないし、またそれ以前に市民のみならず対外的に知られていないということがあげられます。

都市間競争が激化する今日的グローバル社会において、創造性やネットワークは新たな都市戦略の柱として注目が集まってきており、福岡市においても、このアジア政策の資産を戦略的に活用していくことによって、競争社会に勝ち抜ける福岡市のブランディングに寄与していくことを検討すべき時期がきたと思われまます。

今回のフォーラムでは、アジア政策研究報告を問題提起として、福岡ではなかなかお目にかかれない「新鮮な視点」をもつ東京生まれ東京育ち東京在住の新進・若手・女性の研究者から、デザイン・都市・情報・文化領域等の切口から提言をいただき、福岡の広報集客施策担当者とともに対話と議論を進めます。その一連のプロセスを通じて市民の皆さんと一緒に福岡市のアジア政策の活かし方について考えていきたいと思っています。

【日 時】平成 22 年 3 月 3 0 日（火） 14:30～16:30（開場 14:00）

【会 場】福岡ビル大ホール（福岡市中央区天神 1 丁目 1 1 - 1 7 福岡ビル 9 階）

【内 容】一部：自主研究「福岡市におけるアジア政策の過去・現在・未来」の報告

—福岡にはアジアの創造的知の資産が蓄積している—

■報告者 山下永子（財団法人福岡アジア都市研究所研究主査）

二部：『福岡市アジア政策』を活かす・生きる道

—新進若手東京・女子目線からみたアジア政策資産の活かし方—

■発表者 伊藤香織（東京理科大学准教授）

岸清香（都留文科大学講師）

並木志乃（東京大学大学院情報環交流研究員）

三部：福岡女子×東京女子＝福岡市のブランディング施策を考えよう

■モデレーター 山下永子（福岡アジア都市研究所研究主査）

■ディスカッション 佐々木喜美代（福岡市広報課長）

帆足千恵（福岡観光コンベンションビューロー広報係長）

伊藤香織（東京理科大学准教授）

岸清香（都留文科大学講師）

並木志乃（東京大学大学院情報環交流研究員）

（敬称略）

【主 催】財団法人福岡アジア都市研究所

【共 催】福岡市

【後 援】財団法人福岡観光コンベンションビューロー

【お申し込み】平成22年3月26日（金）まで

※参加無料 定員200名（先着順）

「アジア未来シンポジウム聴講希望」と明記のうえ、氏名と住所（所属）を電話・ファックス・メールで福岡アジア都市研究所までお申し込み下さい。ファックスでお申し込みの方は、送信用紙に記入のうえ、お送り下さい。また、福岡アジア都市研究所のホームページ（<http://www.urb.or.jp>）でもお申し込み可能です。

担当：（財）福岡アジア都市研究所 田梅、水谷
〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1

TEL：092-733-5686

FAX：092-733-5680

E-mail：2event@urb.or.jp

F A X送信用紙

(財) 福岡アジア都市研究所 行き

(財)福岡アジア都市研究所

担当：田梅、水谷

F A X : 0 9 2 - 7 3 3 - 5 6 8 0

T E L : 0 9 2 - 7 3 3 - 5 6 8 6

フォーラム「福岡市におけるアジア政策の未来」
ー福岡女子×東京女子が考える「福岡でアジアを活かす・生きる道」ー

申 込 票

ふりがな	
氏 名	
電話番号	
郵便番号	
住 所	
E-mail	

※お申し込み後、整理券の送付はいたしません。当日は、直接会場へお越してください。
※尚、記載された個人情報につきましては、当研究所セミナーのご案内以外には利用いたしません。